



小鳥の森で観察してみよう 9

## ツグミ

分類：ヒタキ科

大きさ：体長 24cm

生態：冬鳥として小鳥の森に渡ってくる。畑、水田、河原など開けた所で餌をとる。庭木の木の実などを食べにくることもある。

小鳥の森での観察：

小鳥の森では観察広場のちかくで赤い木の実（ウメモドキなど）を食べる姿が目撃される。今年の渡りはちょっと遅めであまりみかけない。



福二小  
菊地 薫乃  
きくち ゆきの

今回のイラストはきくちゆきのさんが描きました。

## 1月の自然

1月に入っても、今シーズンは冬鳥の姿を見かける機会は少なかったようです。

例年見かけるトラツグミなどはまだ見かけられず、シメやアトリ、ツグミ、シロハラなどは目撃されるのですが、例年に比べると数はずっと少なかったです。

そのような中で、カシラダカだけは普通に観察することができました。群れで行動し、地面でよくエサを探している姿が観察されました。

山の木の実が豊作の年は冬鳥の渡って来る時期が遅いこともあるようです。

皆さんの周りでは冬鳥や木の実のなり具合はいかがだったでしょうか。



レンジャーだより(いがらしレンジャーより)

## 群れる鳥・群れない鳥

夜に福島駅前を歩いていると「ギョルギョル」と街路樹の上から鳥の鳴き声が聞こえます。これはムクドリ（ムクドリ）の鳴き声です。

冬になるとスズメやシジュウカラ、エナガなど群れになって行動する鳥の姿をよく目にします。

しかし、すべての野鳥が冬に群れになっているのでしょうか。

実はそんなことはありません。モズやジョウビタキといった野鳥は、単独で生活し逆になわばりを作り同じ仲間を追い出します。

鳥の種類によって冬のエサの少なくなる季節の行動が違ってくるようです。身近に見かける野鳥はどちらのタイプでしょうか。ちょっと観察してみましょ。

## お山の大将 in フォレストパークあだたら

1月のお山の大将は、ふくしまっこ体験活動助成を活用して、1泊2日でフォレストパークあだたらへ行ってきました。

フォレストパークあだたらでは、ロープを使った木登り体験や雪遊びなどを実施し、色々な自然体験を楽しみました。

来年度もこのような形でお山の大将集まれの事業は継続する予定になっていますので興味のある方はぜひ、福島市小鳥の森までお問い合わせください。



## あだたら生物クラブがやってきます

フォレストパークあだたら・NPO法人わかば自然楽校・福島市小鳥の森との協働イベント「あだたら生物クラブ」が2月26日（日）に小鳥の森で開催されます。

「あだたら生物クラブ」は生き物を通して自然環境を知ることのできる人を増やすべくスタートした講座で、今回のテーマは『野鳥の巣から環境を知る』です。

講師として小鳥の森のチーフレンジャーの長渡真弓さんが担当する予定です。お申込み・お問い合わせは小鳥の森までご連絡ください。

日時：平成24年2月26日（日）10:00～15:00

会場：福島市小鳥の森ネイチャーセンター

定員：30名

参加費用：学生1000円 一般1500円

\* 双眼鏡や野鳥図鑑等をお持ちの方はぜひご持参下さい



**\* 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。  
福島市小鳥の森のホームページをご覧ください。**

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時  
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsi.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2012年2月№320/企画・発行：福島市小鳥の森/（公財）日本野鳥の会・サンクチュアリ室